

事故報告(注意喚起)

九州地方整備局 港湾空港部
工事安全推進室

管内事務所の工事で発生しました事故について、事故発生の原因及び再発防止対策を取りまとめたので情報提供致します。

I. 事故概要

発生日時 令和6年6月12日(水) 7時20分頃
作業内容 汚濁防止柵ウインチ始業前点検
(着水している汚濁防止柵上にて、ウインチの動作確認)
被災状況 右中指挫創、右環指挫創、右中指爪半脱臼

II. 事故発生状況

- 汚濁防止柵ウインチの始業前点検中、被災者がウインチワイヤーの乱巻きを発見。復旧中に右手中指をウインチワイヤーに巻き込まれた。



事故発生状況の再現写真

Ⅲ. 事故発生の原因

- 1) ウインチワイヤーの乱巻き復旧時に、作業員が適切な保護具(治具、皮手袋)を使用せず、軍手を着用し直接触れて作業を行った。
【危険に対する認識不足】
- 2) 作業手順書に乱巻き発生時の復旧作業の記載が無かった。
【作業手順書の不備】

Ⅳ. 再発防止対策

- 1) 巻き込み部を直接手で触れないように、治具および皮手袋を使用する。
【作業方法の改善】



- 2) ウインチに「警告 回転注意」のステッカーを貼り付け、注意喚起を行う。
【危険個所の明示】
- 3) 乱巻き発生時の作業手順書を定め、作業員全員に周知徹底を図る。
【作業手順書の改善】
- 4) 上記の発生防止対策状況を、元請現場職員と本社(安全部長)で現地を確認する。
【安全意識の向上】
- 5) 新規入場者が作業に従事する場合は、作業に従事する前に、元請下請合同で施工手順の指差し確認や漏れがないかの確認を徹底する。
【新規入場者への周知徹底】